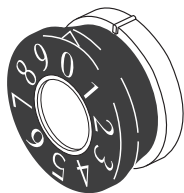


※この説明書は、必ず保管してください。

取付・取扱説明書

郵便受箱/錠前

軽音UDダイヤル錠



お客様の解錠番号 ▼

号室

このシールが製品に貼ってある場合は、ご使用前に必ず製品からシールをはがしてください。

このたびは、軽音UDダイヤル錠〈タジマメールボックス 専用錠前〉をお買いあげいただきありがとうございました。ご使用前にこの説明書をお読みいただき 軽音UDダイヤル錠の機能をご理解のうえ、末永くご愛用ください。お読みになったあとは必ず保管してください。

●安全にお使いいただくために

この取扱説明書では、お客さまに特に注意していただきたい事項には、右記のようなマークと見出しをつけています。この説明書の中で、これらのマークと見出しがありましたら、記載内容をお読みのうえ十分注意してください。



注意

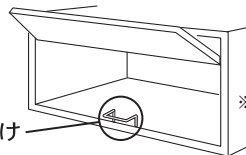
取扱いを誤った場合に、軽傷を負うか、または物的損害の可能性のあることを示しています。

錠前交換の前に郵便受けの鍵受け形状をご確認ください



製品に旧タイプの鍵受けが付いている場合、本錠前への交換ができません!!

鍵受け



※イラストの鍵受形状は現状のものです。

◇旧タイプの鍵受け形状一覧

(※1982～1992 製造の旧タイプ)

MX-2	MX-3	MX-4	MX-5	MX-7	MX-8	MX-41

(上記以外の郵便受けには、旧タイプの鍵受けはありません。)

●製品に関する修理・取扱方法等のご相談窓口

※お問い合わせの際はご使用の製品名をご確認の上、ご連絡ください。／製品名：軽音UDダイヤル錠

サービスセンター フリーダイヤル 0120-090-630 受付時間／平日 9:00～12:00 13:00～17:00 (土・日・祝祭日は休ませて頂きます)

■郵便受箱/錠前 保証書

1. 保証期間 納品日から2年間（納品書は大切に保管してください）

2. 保証規定 保証期間内に製造上に起因する故障が本製品に生じた場合、無償で修理致します。

本製品は郵便受箱（タジマメールボックス）の純正部品です。当社の郵便受箱以外で使用された場合、当社はその責任を負わないものとします。

(1) 取り扱い上の不注意や誤ったご使用方法、適切な維持管理をして頂けなかったことによる故障、及び損傷。

(2) 取付説明書に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解などに起因する不具合。

(3) 建築躯体の変形など本製品以外の不具合に起因する故障、及び損傷。

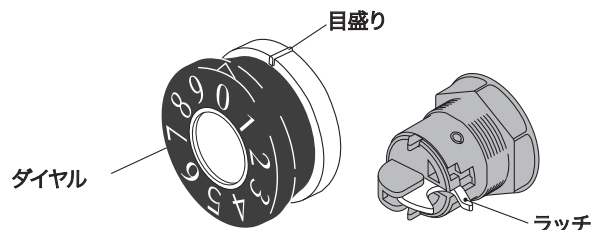
(4) 塗装の色あせなどの経年変化、または使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の現象。

(5) 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合。(6) ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合。

(7) 火災・爆発などの事故、落雷・地震・噴火・水害その他天災地変または戦争・暴動などの破壊行為による故障、及び損傷。

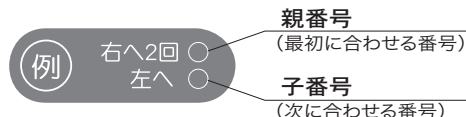
●保証規定は日本国内においてのみ有効です。離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理の場合は、出張に要する実費を申し受けることがあります。

●本書は必ず保管してください。



●解錠番号シールの見方

表紙に貼られたシールの親番号と子番号が解錠番号です。



■錠前の操作方法

●操作手順	例 右へ2回 2 左へ 8		例 左へ2回 7 右へ 5
親番号を合わせる (1回目)		○あける 親番号(最初に合わせる番号)を指定方向に回し、2回目盛りに合わせます。 次に子番号(次に合わせる番号)を逆方向へ戻して合わせると解錠されます。	
親番号を合わせる (2回目)			
子番号に合わせる			
そのまま		○しめる そのまま解錠番号の状態ですべて扉を閉めます。	
1回転以上 まわす		○かける 子番号の方向へ1回転以上回します。 (注) 1回転以上回さないで子番号を合わせただけで開く場合があります。	

※番号の位置によっては1回合わせるだけで開く場合があります。親番号は2回以上合わせても支障ありません。

○操作上のご注意

1. 扉が開いている時はダイヤルは回りません。

⚠注意| 無理にダイヤルを回すと破損しますのでご注意ください。

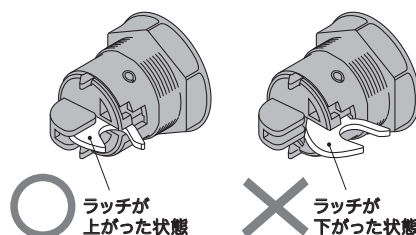
2. 扉を引きながらダイヤルを回さないでください。

⚠注意| 錠前の故障もしくは解錠出来なくなる原因となります。

3. ラッチがおき上がった状態では扉は閉まりません。

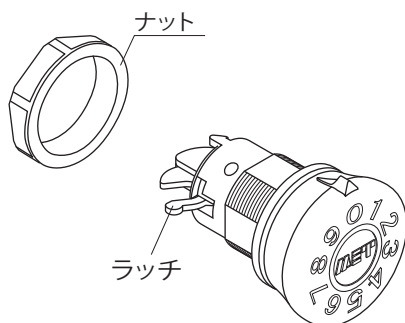
⚠注意| 無理に扉を閉めると錠前が破損することがあります。

※ラッチがおき上がった状態になっている場合は、指でラッチを押し戻してください。
動かない場合は、その状態で解錠操作をおこない、それからラッチを押し戻してください。



○錠前が開かない場合

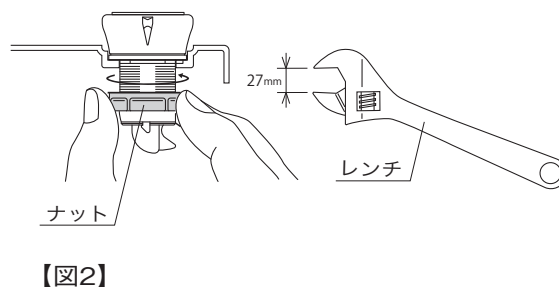
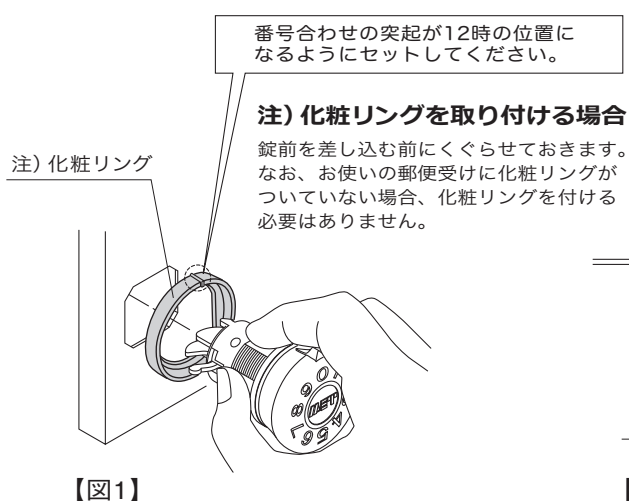
- 1) 指定の回転方向に親番号を2回、必ず目盛に合わせてください。(番号の位置によっては1回合わせるだけで開く場合があります)
- 2) 子番号は親番号を合わせた回転方向とは逆の方向に1回だけ合わせてください。(1回転以上すると再び施錠されます)
- 3) 郵便物をため込みすぎると、開かなくなる場合があります。郵便物をため込みすぎないよう、定期的にお取り出しください。
ため込みすぎて錠前が開かない場合は、投入口から出来るだけ郵便物を取り出し、錠前の施錠部分に隙間を作るようにしてください。



部品の名称

■取付方法

1. ラッチが戻った状態で、扉の表側から取付穴にラッチをくぐらせそのまま差し込みます。（図1）
2. 錠前の後ろ側からナットをくぐらせます。錠前のネジ方向に対して水平になるように、ナットをレンチ等の工具で完全に締め込みます。（図2）



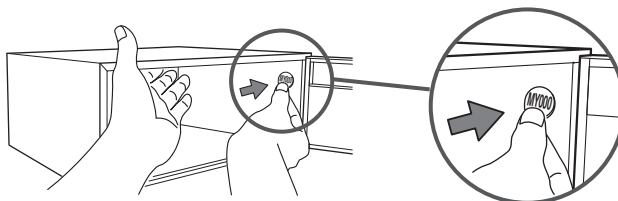
錠前の取り替え注意事項

◇ナンバーシールを貼ってください

同封の丸いナンバーシールは錠前を管理する番号です。



ナンバーシール



交換前のナンバーシールを剥がした後、本錠前のナンバーシールを必ず所定の位置(本体内部右側面)に貼ってください。

■各種錠前の取り外し方法

注) 2014.4 出荷分よりワッシャーは付属されておりません。
 注) 機種によっては図の化粧リングを使用していないものがあります。

錠 前	取り外し方
96ダイヤル錠 ナット ワッシャー 注)化粧リング 錠 前 ラッチ 解錠板 カバー	1. レンチ等の工具を使ってナットをゆるめます。 ※カバーがついている場合は外します。 2. ラッチを①の方向に動かし解錠板を②の方向に押し込んでナットとワッシャーを外します。 3. 解錠板を押し込みながら錠前を③の方向へ引き抜きます。 ナットとワッシャーを外す方向
フリーダイヤル錠 セットダイヤル錠 myナンバー錠 ラッチロック ナット ワッシャー 注)化粧リング 錠 前 ラッチ カバー ※カバー(myナンバー錠・セットダイヤル錠のみ)	1. レンチ等の工具を使ってナットをゆるめます。 ※カバーがついている場合は外します。 2. ナットとワッシャーを外します。 3. 錠前を扉の表側から引き抜きます。 ◇ラッチがおき上がった状態で取り外すことはできません。その場合は、指でラッチを戻してください。動かない場合は、その状態で解錠操作をおこない、それからラッチを押し戻してください。 ラッチがおき上がっている状態 ラッチが戻っている状態
デジタル錠 オートデジタル錠 ナット ワッシャー 注)化粧リング 錠 前 ラッチ リング ボタン	1. レンチ等の工具を使ってナットをゆるめ、ネジ部分から外します。 2. 解錠ボタンを押してリングを回します。 ※リングを回したままの状態が解錠状態です。 3. 後ろに持ち上げて、ナットとワッシャーを外す方向。 4. 錠前本体は、扉の表側から引き抜きます。 ※解錠状態(リングを回した状態)のままで作業を行います。 ※解錠状態(リングを回した状態)のままで作業を行います。 ラッチを後ろへ持ち上げて、ナットとワッシャーを引き抜きます。
シリンダー錠 ナット ワッシャー 注)化粧リング 錠 前	1. レンチ等の工具を使ってナットをゆるめます。 2. ナットとワッシャーを外します。 3. 錠前を扉の表側から引き抜きます。 扉の裏側 扉の表側

※詳しくは弊社ホームページをご覧ください。<http://www.metalwork.co.jp>
 ホームページでは動画もご覧いただけます。